

**第 39 回原子力総合シンポジウム・プログラム**  
**2001 National Symposium on Atomic Energy, Tokyo, Japan**

主調テーマ「21 世紀の原子力の道筋」

日 時   2 0 0 1   年   5   月   15   日（火）～ 16 日（水）   10：00 ～ 17：00

会 場   千代田区立内幸町ホール   （東京都千代田区内幸町 1-5-1）

1. 開催趣旨

原子力関連学協会の共同主催により、21 世紀を迎えてますます重要になりつつある地球環境の維持・保全を考えたエネルギーの安定供給のあり方について、学界－産業界の各専門分野の研究者－技術者間の情報の交換・普及を図ると共に、単に専門家のみならず、一般の人々をも対象にして、エネルギー問題の現状と将来の展望を考え、人類と地球環境が直面している問題点を明らかにし、共通の理解を深めるため、本シンポジウムを開催する。

時 間 表

|     | 10:00             | 11:00        | 12:00 | 13:00 | 14:00                                | 15:00 | 16:00 | 17:00 |
|-----|-------------------|--------------|-------|-------|--------------------------------------|-------|-------|-------|
| 15日 | 開会                | 特別講演 1, 2, 3 |       | 昼 休   | 1. 環境・経済関連の課題と原子力<br>2. 低線量放射線の影響と防護 |       |       |       |
| 16日 | 3. 21世紀の核融合・ビーム科学 |              |       | 昼 休   | 4. 21世紀の規格基準<br>5. 防災・ヒューマンファクター     |       |       |       |

5月15日(火)

午前の部

(敬称略)

(後日一部変更する場合があります)

開会の辞 10:00～

運営委員長 竹田 敏一

挨拶

日本原子力学会会長 住田 健二

司会：山崎 秀(電源開発(株))

(10:15～11:00)

特別講演1.「原子力長期計画の示す政府と民間が今後取り組むべき課題」

東京大学 近藤駿介

(11:00～11:45)

特別講演2.「21世紀の原子力技術が満たすべき条件」

日本経済新聞社 鳥井弘之

(11:45～12:30)

特別講演3.「21世紀の社会と原子力」

東京電力(株) 榎本聡明

-- 昼 休 (12:30～13:30) --

5月15日(火)

午後の部

1. 「環境・経済関連の課題と原子力」

(13:30～15:30)

司会：岡 芳明(東京大学)

1) エネルギー需要動向と日本の選択(40 分)

(株)三井物産戦略研究所 寺島実郎

2) 地球温暖化対策における原子力の役割(40 分)

東京大学 山地憲治

3) 市場経済と原子力(40 分)

京都大学 佐和隆光

2. 「低線量放射線の影響と防護」

(15:45～16:55)

司会：松原純子(原子力安全委員会)

1) 低線量放射線影響研究の現状と方向性(35 分)

京都大学名誉教授 佐々木正夫

2) 放射線防護体系の見直しに係わる最近の議論について(35 分)

日本原子力研究所 水下誠一

5月16日(水)

午前の部

3. 「21世紀の核融合・ビーム科学」

(10:00～12:30)

司会：中沢正治(東京大学)

1) 磁場閉じ込め核融合研究の現状と展望(30分)

京都大学 若谷誠宏

2) レーザー核融合研究の動向と展望(30分)

大阪大学 三間罔興

3) パルス中性子ビームの拓くサイエンス-中性子構造生物学-(30分)

日本原子力研究所 新村信雄

4) ポジトロンビームによる材料研究の新展開(30分)

東京大学 兵頭俊夫

5) PETを用いた動脈硬化早期診断治療戦略(30分)

東京大学 横山郁夫

-- 昼 休 (12:30～13:30) --

5月16日(水)

午後の部

4. 「21 世紀の規格基準」

(13:30～15:30)

司会：成合英樹(筑波大学)

1) 21 世紀における規格・基準の体系(35 分)

東京電力(株) 唐澤俊樹

2) 規格基準の開発体制のあり方(35 分)

(財)発電設備技術検査協会 江越博昭

3) 安全基準と設備基準のあり方(35 分)

関西電力(株) 浦田 茂

4) 配管耐震基準の現状と将来への展望(35 分)

(株)東芝 佐藤輝朗

5. 「防災・ヒューマンファクター」

(16:00～17:00)

司会：木口高志((株)日立製作所)

1) 安全におけるヒューマンファクタの意味(30 分)

東京大学 古田一雄

2) 備えあれば憂いなしの原子力防災(30 分)

(財)高度情報科学技術研究機構 藤城俊夫